

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立瓜破小

学校

児童数

334

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.36	26.10	30.38	44.13	48.57	9.28	162.79	24.89	54.46
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.35	16.30	32.10	33.53	22.55	10.49	140.95	11.75	47.26
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は「長座体前屈」以外は全て全国平均を上回った。女子は「握力」以外の種目で全国平均を下回っている。体力合計点においては、全国の差は男子は+1.44に対し、女子は-6.71であり男女差が見られた。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の問いでは最も肯定的な「1.好き」と回答した児童は男子91.9%（全国72.7%）・女子59.1%（全国54.1%）と男女ともに全国よりも上回った。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は男子7.4%（全国9.8%）・女子26.3%（全国16.0%）となり、ここでも男女での差が見られた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

男子は1種目を除いて全国平均を上回り、ここ数年では最も良い結果となった。授業もそうであるが、普段の生活の中でも男子は外で遊ぶことが多い学年である。特に休み時間には、運動場でドッジボールをしたり鬼ごっこをしたりと、普段から体を動かすことが多い。そのため、運動能力や生活習慣等調査の結果につながっていると考えられる。

一方、アンケート結果からもわかる通り、女子は1週間の総運動量が60分未満（26.3%）のうち、0時間の児童が15.8%いる。また、運動をすることが好きな児童の59.1%に対して、運動をすることが嫌いな児童も18.2%と男子（3%）に比べると多い。今後も体育科の授業とともに、体育委員会の児童を中心に、楽しく運動ができる企画などに取り組み、運動ができる場を設定していきたい。